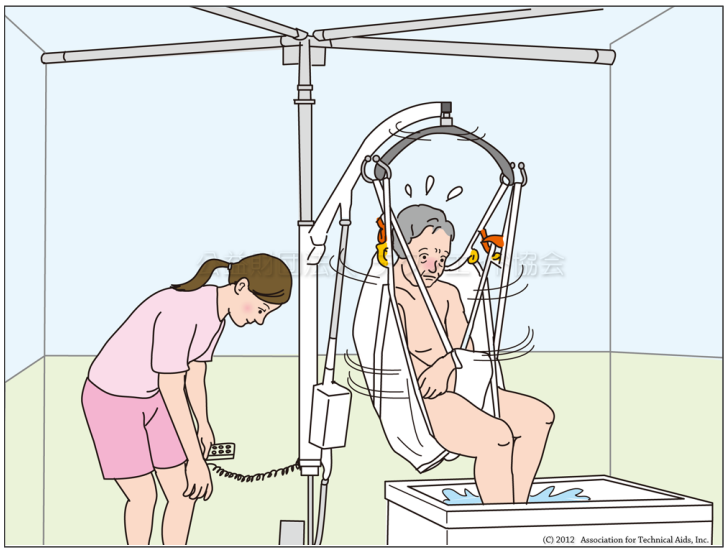
Case：83

リフトを使用中、利用者の身体が回転してしまう

場面の説明

浴室でリフトを使用中、介助者が利用者の身体から手を離してしまった



利用シーン	移乗 入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード(CCTA95)	123612 (住宅用設置型リフト)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

リフトでの移動介助は不慣れな利用者にとって、とても不安が大きいものです。このような不意な動きを予防するだけではなく、利用者が安心して移動できるためにも、介助者は常に利用者の身体を支え、無用な動きの無いよう注意しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：リフトでの移乗介助に不慣れであった
人：介助者が利用者から目を離してしまった
モノ：リフトがわずかに傾いて設置されていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：83

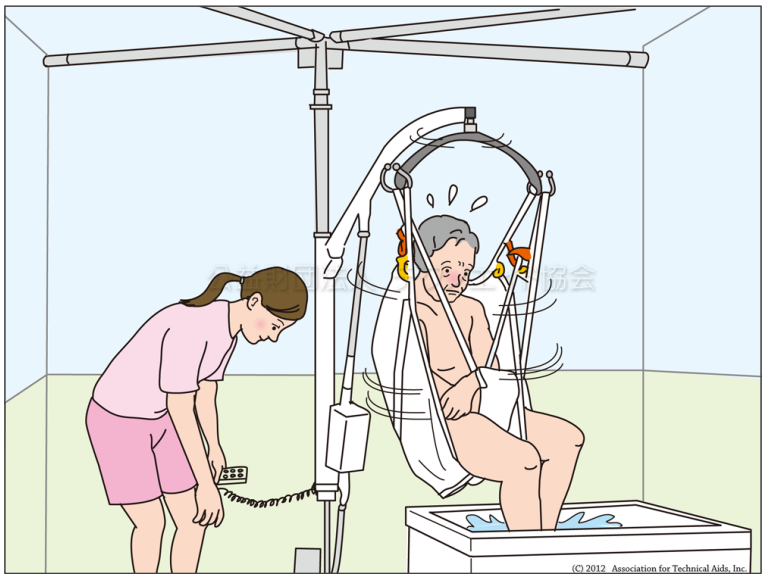
リフトを使用中、利用者の身体が回転してしまう

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

浴室でリフトを使用中、介助者が利用者の身体から手を離してしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.